

2013年 2月定例議会 個人質問 3月8日

日本共産党 竹永光恵

1・市民サービス窓口・拠点の再編と公民館のあり方について

1) 吉備公民館と吉備地域センターの合築併合について

「市民サービス窓口・拠点の再編について」

にもとづいてまず、吉備公民館と吉備地域センターの合築が2年かけて行われます。

地元の合築検討委員会に示された設計の青写真では地域センターと公民館の執務室が同じだったと伺います、先の私どもの代表質問では地元と調整しながらという不確かな答弁ですが執務室、出入り口は別々が利用者にとっては望ましいと考えます。

全市的なモデルとなるこの合築・併合で、サービスセンターに専任職員を配置し、

証明書の発行だけでなくサービス機能を充実させ、公民館とは別の執務室で市民満足度の高い内容にするべきではないか？行革の視点だけでなく真のモデルケースとなるような内容にしていきたいと思います。

ア) 建て替え時の2年間の公民館や地域センターの代替場所はどうするのでしょうか？

2) 今後の中央公民館について

岡山市立公民館は岡山市福祉文化会館との合同施設ですが建物の老朽化で廃止が決まり中央公民館の機能は移転しこの学区には操山地区公民館が新築されることとなりました。中央公民館がなくなることで今、80のクラブ講座に通われている方々はどうなるのか？また中央公民館ならではの主催講座や行事など全市的な内容がなくなるのは問題ではないか？との利用者の声もあります。

1) そもそも地区公民館と違う中央公民館の役割はなんだったのでしょうか？

2) 青森県では社会教育委員が市民アンケートをとりながら今後の公民館のあり方をまとめています。その中で「地区公民館は地域の人と人をどう結ぶというコーディネート機能に特化し、中央は各地区からあがってきたそれぞれの課題を集約し市全体の課題として各地区におろす」という役割がはっきりと明記されています。特に合併政令市以降は市全

体としての一体感を醸成させる役割があるのではないのでしょうか？

3) 公民館の職員には地域の教育力を高めるため、人と人をつなぐコーディネート機能と学びの場を活性化させ促進させるファシリテーター機能との両方が求められます。だから社会教育主事という専門職であり、また多くの情報を収集し研修を重ね日々研鑽していく必要があります。その役割を中央公民館が果たす必要があると思うが教育委員会の中に事務機能だけおくとということでは出来るとお考えなのではないのでしょうか？

2・DV被害者支援に岡山市は本気で取り組んでいるのか？

今回、国のひかりを注ぐ交付金の終了でDV被害者支援をしている市民団体へのステップハウスの運営費の補助などがぱっさりと削られたことは我が党代表質問で指摘をさせていただきました。

ステップハウスの設置運営に役立つ交付金でした。ステップハウスは一時保護のあとに相談支援をおこないながら自立支援までを被害者に寄り添いながらサポートする施設であり継続性が必要な事業です、民間団体任せでは無く市として今後被害者の自立支援まで切れ目のない支援をするためにもひきつづき拡充していただきたいという立場で質問に入ります。

ア) 市が掲げているDV防止基本計画の基本施策には民間団体等との連携・協力及びDV被害者支援団体への支援の強化とはっきり書いています。逆行する予算のつけ方ではないか？

イ) 今現在この団体は6部屋シェルターとステップハウスのために確保しており2011年から2013年の1月末まで2年近くで6部屋フル回転40ケースの被害者支援をおこなっています。うち半分の20ケースが岡山市の方です。3日間から長い方で1年近く被害者の年齢は10代から70代と幅広く事情もさまざまです。来年度からの補助金の終了によりこれまで確保している部屋数を減らすなど事業を縮小せざるをえない実態です。これでは被害者支援が後退するのではないか？

ウ) その受け皿を市はどう考えているのか？

複雑なケースをこのステップハウスで受け入れ自立支援までサポートしていました。市は

できるのですか？

エ) この団体のおこなっている自立支援は真に自立できるよう生活のめどが立つまで雇用を含めての丁寧な支援で結果生活保護申請をされた方はごくわずかだったと伺っています、市は被害者の自立に向けては、住居の確保や経済面での支援、精神面での支援、司法の面での支援、同伴者への支援など、被害者の立場に立って切れ目なく多角的に行う必要があると基本計画に位置づけています。

市はどこまで団体の力を借りずにそれができるといえるのでしょうか？

オ) 今回の予算削減で民間団体の受け皿が減る分を市が行うためには、仁愛館でステップハウスの機能を補う必要がありますが、今の課題と今後の方向性をお示してください。

3・東区のまちづくりについて

1) 西大寺会陽・裸祭りについて

今年も西大寺会陽・裸祭りが終わりました。ご存知のように日本三大奇祭として有名な西大寺・会陽裸祭りは500年以上続いた伝統ある祭りであり、年に一度ですが日本中はもちろん世界からもたくさんの方が訪れる祭りです。そこで伺います。

ア) 1月5日の日経新聞のプラス1という別冊に「訪ねてみたい冬まつり」という記事がありましたが、1位はさっぽろ雪まつり 2位は秋田のなまはげ柴灯まつり 3位は新野の雪まつり 4位は横手かまくら・ぼんでん 5位が西大寺会陽と全国の大きなお祭りとならべています。 昨年は韓国のテレビ局の取材があり、今年にはオーストラリアから、また、NHKの国際部からも取材がありました。このように世界的に知られるようになっていくのですから、「岡山の西大寺はだかまつり」として、岡山を売り込み、岡山市として盛り上げるという発想はないのでしょうか？伝説の岡山市のDVDの中にはありますが、位置づけを高めていただきたいかがかか？

イ) 裸祭り関連の予算は毎年少しずつ削られ平成19年度、祭り自体への補助金、西大寺ファンタジーの負担金、冬花火委託料の計916万7千円が昨年平成24年度では計829万円と90万円近く削られています。

それにより、以前は駅前から会場までのイルミネーションが駅前と一部だけの提灯となり、県外からこられたお客様が駅周辺のさみしさに祭りがどこでおこなわれているのか？と言

われています。

さくらカーニバルが550万円、桃太郎祭りが8千8百万、岡山城下町物語が720万からしても裸祭りだけの補助金は281万円というのは少なすぎるのではないのでしょうか？ おもてなしの心で気持ちよく西大寺を歩いてもらうためにも抜本的に予算を増やしていただきたいがいかがか？

2) 東区役所等移転に伴って

平成27年度の完成を目指して、東区役所、消防署、水道局の合同庁舎が移転新築されます。大方の設計図もできいよいよ動き出します。

ア) 住民への説明などは今後どうするのでしょうか？

イ) 移転に伴い西大寺駅前の一等地が空くことになります。

その際どういうコンセプトで跡地利用をお考えか？

ウ) 跡地利用検討の今後のスケジュールをお示してください

エ) その企画を責任をもつ部署は政策局なのか？

オ) 区役所内に区政企画係ができますがその目的と役割は？

カ) 区役所や買い物、病院などに行きたい住民の利便性を考えリョービバス会社に働きかけ、西大寺警察署前からAコープ、グリーンテラス、NTT、中銀前と回ってバスターミナルに入るルートにしていきたいがいかがか？

3) 今年はベル串田さん、生誕100周年

今年は西大寺が生んだ日本の洋画家ベル串田さんの生誕100周年の記念すべき年です。今は息子さんが自分のされていた工場のあとをベル串田記念館として作品を展示されています。100周年を機に展覧会をしたいが東区では美術館などのきちんとした会場が無く困っているとのこと。

ア) せめてシティミュージアムで100周年記念展をさせてあげたいがいかがか？

ベル串田さんは裸祭りの絵をアメリカの大学やケネディ元大統領夫人にもプレゼントしたなど、世界に裸祭りを絵で発信しています。その功績をたたえて今ベル串田さんの絵のファンだという若者達が裸祭りの絵の創作に取り組んでいます、この高校生達は小学校のときに校長室に掲げてあったベルさんの絵に衝撃をうけてすっかりファンになってしまったとのこと。時代を超えて文化を継承するということがささやかですが行われているということをご紹介し質問を終わります。

4・学校給食費の徴収方法等の今後のありかたについて

市教委は「学校給食費の徴収方法等の今後のあり方について」の中間報告を行いました。まとめるための市内の小中学校の徴収状況の調査では、未納者の割合は約1.2%、未納額の割合は約0.5%という結果です。ほとんどの方がきちんと払っているわけです。そして未納者約1.2%のうちの54%が責任感や規範意識の問題によるものというわけですから悪質な未納者は0.6%くらいの実態です。

包括外部監査はそこを問題とし「債権回収のための法的手段」がとられていないことを指摘し、それを受けて「学校給食費未納対策検討委員会」を市は設置し検討しているとのこと。

ア) 平成23年度の包括外部監査のテーマは「岡山市における債権の管理」でした。学校給食は教育との見地でその対象ではないと市教委がはっきりいうべきではなかったのか？

イ) 法的手段を教育の場に持ち込むことで差し押さえなどの法的処置が教育の現場に入ることになります。子ども達の安心して学ぶ権利を奪うことになるのではないのか？

ウ) 中間報告には連帯保証人を定めた確約書を提出という方針があるがそもそも教育の場でこういう契約を行う発想自体がおおまちがいではないのか？

エ) 文科省が効果の上がった自治体の調査をしたところ一番効果が上がるのは家庭訪問で31.9%、法的措置は1.4%だったとのこと。いかに学校給食が大切で重要な教育の一環だと丁寧に保護者との人間関係を築くことが必要だと考えますがいかがお考えでしょうか？

そうはいっても、これ以上現場の教師に負担を増やすのは大変です、やはりこういうことの解決のためにも払えない背景をさぐるソーシャルワーカーの全校配置と教職員の抜本的増員をすることが長期的には財政効果があがると改めて要望をしておきます。

オ) 未納者1.2パーセントのために回収のための人員を採用するよりもどの子どもも安心して学校にかよえるためには学校給食を無料化にすべきではないでしょうか？全日本教職員組合がとったアンケート結果のなかで、2010年以降全国で学校給食への何らかの独自補助をしている自治体が12.4%となっています。現在のこどものおかれている貧困を受け止めての実施です。岡山市でも考えてはいかがか？